

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	大月短期大学
設置者名	大月市長

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	経済科	夜・通信			54	54	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://www.ohtsuki.ac.jp/campuslife/course/specialty">https://www.ohtsuki.ac.jp/campuslife/course/specialty</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	大月短期大学
設置者名	大月市

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	大月市立大月短期大学運営委員会
役割	大学の予算及び決算に関する事項、学則の制定及び改廃に関する事項、学科の増設及び廃止に関する事項、学生の定員に関する事項、授業料、入学金、入学検定料及び証明手数料に決定に関する事項、寄附金の受領及び使途に関する事項、大学附帯施設の設置に関する事項、その他教育の実体並びに大学職員の人事に関する事項を除く大学運営に関する重要な事項を審議する。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
元小学校校長	令和6年4月1日 ） 令和8年3月31日	学識経験者
元小学校校長	令和6年4月1日 ） 令和8年3月31日	学識経験者
元小学校期間採用	令和6年4月1日 ） 令和8年3月31日	学識経験者
他大学教授	令和6年4月1日 ） 令和8年3月31日	学識経験者
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大月短期大学
設置者名	大月市

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 上記の基準を満たした授業計画(シラバス)は、本学では「開講科目の講義要目」として作成・公表している。 シラバスの作成過程としては、翌年度の開講科目を教授会にて承認ののち、各授業担当者が執筆し、学内の教務部の委員全員によって複数回に渡り、設定した必要事項を網羅しているかを確認している。このシラバスでの必要事項として以下のように設定している。(1) 授業と学位授与基準(ディプロマポリシー)との関連、(2) 授業概要と目的、(3) 到達目標、(4) 授業計画、(5) 授業の進め方(授業時間外の学習方法)、(6) 成績評価の方法と基準、(7) 使用書・参考書、(8) 関連科目・履修することが望ましい科目、(9) オフィスアワー・その他の項目、である。授業担当者にはこれらすべて記してもらうことを求め、授業全体の内容を客観的に可視化できるようにしている。 シラバスの公表時期としては、例年、開講科目の承認後、各授業担当者が前年度1月までに執筆し、2月中に教務部委員による確認を終え、3月末までに「開講科目の講義要目」として印刷を完了している。同時に本学ホームページへも掲載している。	
授業計画書の公表方法	
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) シラバス内の(6) 成績評価の方法と基準により、各担当者が定める成績評価の方法を明確化している。また成績評価の評価基準においては、「秀・優・良・可・不可」の成績判定を行っている。特に成績上位者(成績評価が「秀・優」の学生)を合格者の35%以内(合格者の35%を四捨五入した人数。ただし、「秀」は10%程度)と定めており、各科目の学修成果を全体的な見地から厳密に評価している。さらには、「卒業レポート」の提出とその評価認定を卒業認定への必修としており、2年間に渡るゼミナール活動における学習成果としてそれを評価し単位認定を行っている。教員によって構成される審査委員会にて選出された優秀卒業レポートについては、全学生に対する発表会の開催とともに、卒業式において表彰をしている。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  
 令和元年度までは学生の履修する科目の総平均点(100点満点)により、成績の分布状況を把握してきたが、令和2年度よりGPA指標を導入しており、これにより客観的な指標を設定、公表をしている。

成績評価

判定	評価点	成績原簿表記	成績証明書表記	GP	成績評価内容
合格	90点以上 100点	秀	秀	4.0	到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果をおさめている
	80点以上 90点未満	優	優	3.0	到達目標を十分に達成している
	70点以上 80点未満	良	良	2.0	到達目標を達成している
	60点以上 70点未満	可	可	1.0	到達目標を最低限達成している
不合格	59点以下	不可	表示せず	0	到達目標を達成していない
	—	放棄		0	評価できない
認定	認定	認定	認定	対象外	成績の評価をせずに単位の認定のみを行う

- ・ 追試験の評価については80点以内、再試験の合格点は60点とします。
- ・ 可以上を合格とします。
- ・ 合格と判定された授業科目は再度履修することはできません。

客観的な指標の算出方法の公表方法	<a href="https://www.ohtsuki.ac.jp/campuslife/course/courses">https://www.ohtsuki.ac.jp/campuslife/course/courses</a>
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  
 本学では以下のディプロマ・ポリシーを定め、公表することで、卒業の認定に関して適切に実施している。

1. 日本語を中心としたコミュニケーション能力を身につけている。  
(日本語、英語、第二外国語の修得)
2. 広い範囲にわたる教養を修得している。  
(導入科目、教養演習、専門入門科目等の履修による「自己教育力」の修得)
3. 経済、公共政策、経営、社会文化のうち、少なくとも1つについて基礎的な知識を修得している。  
(専門的な知識の修得)
4. 地域や社会に発生している問題を、一般教養や専門的な基礎知識に基づいて明示し、その解決策を論理的に提示できる。  
(「地域貢献力」の修得、「卒業レポート」の作成と「問題解決力」の修得)

卒業の認定に関する方針の公表方法	<a href="https://www.ohtsuki.ac.jp/college/outline">https://www.ohtsuki.ac.jp/college/outline</a>
------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	大月短期大学
設置者名	大月市

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告(書)	

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="https://www.ohtsuki.ac.jp/college/disclosure">https://www.ohtsuki.ac.jp/college/disclosure</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:
-------

### (3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

#### ①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 大月短期大学
教育研究上の目的 (公表方法 : <a href="https://www.ohtsuki.ac.jp/college/outline">https://www.ohtsuki.ac.jp/college/outline</a> ) (概要) 1. 社会の変化に主体的に対応できる能力を育成する。 2. 1人前の社会人として生きる素養を形成する。 3. 経済学・経営学を中心とした専門的な基礎知識、能力を身に付け、地域などの社会で職業人として主体的に生きる素養を形成する。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法 : <a href="https://www.ohtsuki.ac.jp/college/outline">https://www.ohtsuki.ac.jp/college/outline</a> ) (概要) 1. 日本語を中心としたコミュニケーション能力を身につけている。 2. 広い範囲にわたる教養を修得している。 3. 経済、公共政策、経営、社会文化のうち、少なくとも1つについて基礎的な知識を習得している。 4. 地域や社会に発生している問題を、一般教養や専門的な基礎知識に基づいて明示し、その解決策を理論的に提示できる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : <a href="https://www.ohtsuki.ac.jp/college/outline">https://www.ohtsuki.ac.jp/college/outline</a> ) (概要) 1. 主体的に学ぶ「自己教育力」を形成する。 ・導入科目や教養演習及び入門科目をもって、学生が自身の進路デザインと社会に対する問題意識を反映した「学習計画(研究計画)」を作成する。これをもって経済、公共政策、経営、社会文化の4つのコースを合理的に選択する。 2. 専門的知識を活用した「問題解決力」を身につける。 ・専門演習を基礎に、社会の問題解決をテーマにした「卒業レポート」を全学生が作成する。 3. 「地域貢献力」を身につける。 ・「地域プログラム」によって地域問題の解決と地域貢献意欲を醸成する。 ・「教員の研究活動」と連動する学生活動を推進し、地域の問題解決のプロセスを体験する。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : <a href="https://www.ohtsuki.ac.jp/college/outline">https://www.ohtsuki.ac.jp/college/outline</a> ) (概要) 1. 社会人として、十分なコミュニケーション能力を修得しようとする高い意欲がある。 2. 社会で起きている具体的な事象に対し、強い関心を持っている。 3. 経済・経営を中心に人文・社会科学に興味があり、それを修得しようとする意欲がある。

#### ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法 : <https://www.ohtsuki.ac.jp/college/educational-information>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
経済科	—	8人	5人	人	人	人	13人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
人				人			人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： <a href="https://www.ohtsuki.ac.jp/campuslife/course/teacher-profile">https://www.ohtsuki.ac.jp/campuslife/course/teacher-profile</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経済科	200人	137人	68.5%	400人	284人	71%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	200人	137人	68.5%	400人	284人	71%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経済科	183人 (100%)	89人 ( 48.6%)	73人 ( 39.9%)	21人 ( 11.5%)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	183人 (100%)	89人 ( 48.6%)	73人 ( 39.9%)	21人 ( 11.5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
授業科目、授業の方法等においては、シラバスで示した授業計画をもとに授業を進めることを前提としている。年間の授業計画は、前期期間15週、後期期間15週（試験期間を含めず）を設定している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
学修の成果に係る評価基準においては「秀・優・良・可・不可」の成績判定を行っている。特に成績上位者（成績評価が「秀・優」の学生）を履修者の35%以内（うち、秀は10%程度）と定めており、各科目の学修成果を全体的な見地から厳密に評価している。また卒業の認定に当たっても「卒業レポート」の提出とその評価認定を卒業認定への必修としている。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	経済科	62 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： <a href="https://www.ohtsuki.ac.jp/college/facilities">https://www.ohtsuki.ac.jp/college/facilities</a>
---

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	経済科	379,200 円	110,000 円 200,000 円	146,430 円	上段：市内在住者 下段：市外在住者
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 奨学金の取りまとめと推薦事務や学生アパート組合と連携してアパートの斡旋、キッチンカー等の昼食の提供を実施している。また、土日祝日の学校開放（自習室と談話室、ラウンジ）も行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 1年次生を中心とし、単位化した「キャリアデザイン論」を時間割に取組、前期は学術的授業、後期は編入学希望者には外部講師による講義等を中心に、就職希望者には就職支援担当者による活動手順や面接対応、外部講師による講演等を行っている。また、2年次生を中心に、「キャリア支援講座」を設定し、就職希望者、編入学希望者への実践的支援を行う。なお、編入学希望者、就職希望者が必要とする、必要書類（成績証明書・卒業証明書・健康診断書等）の無料発行を行っている。今後も無料発行は継続し支援する予定。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 1年次生入学ガイダンスにて、保健室でのカウンセリング案内や学生便覧記載の健康診断受診、ハラスメントについての説明を行っている。また、毎年、半期ごとに健康に関するアンケートを実施し、精神、体調面に不安の見られる学生に保健指導室へ相談に来るよう連絡をしている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： <a href="https://www.ohtsuki.ac.jp/college/disclosure">https://www.ohtsuki.ac.jp/college/disclosure</a>
---

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。